

補足説明

『個人会員 年会費を6千円としたことについて』

TDO会長 関祐司

●現状について

説明のため会員会費に絞った大まかな金額でご説明させていただきます。

2020年度年会費（2020年3月 文京区民センターにて納付いただきました）

- ・ 約800名×6千円＝約480万円（新規加入も含む）

この納付いただいた約480万円から以下の費用を計上させていただきました。

- ・ 2019年4th分 景品バッジ、集計システム費用（※1）
- ・ 2020年度分 維持費用
- ・ 2021年度分 維持費用

（※1）2019年4th分景品バッジ、集計システム費用

景品バッジ業者、集計システム会社より遅れて請求されるため、決算上は前年4th分も含めて例年計上しています。

なお総会資料より決算時の期末繰越金額は以下のとおりとなります。

2018年度 約 44万円（確定）

2019年度 約 71万円（確定）前年比+27万円

2020年度 約 332万円（確定）前年比+261万円 ← リーグ戦開催中止

2021年度 約 232万円（予算）前年比-100万円

（2022年度1stチームエントリー振替予定分123万円を含む）

●今後の会員数と会費について

今回リーグ戦再開にあたり、会員数と会費に関してはこれまでの2年間の開催不可期間を考慮し、また先般実施させていただいた事前アンケート結果の状況を踏まえ、これまでの会員を半数と想定しております。（想定会員登録400名）

想定会員数400名とした際の会費収入シミュレーションは以下のとおりです。

会費 @6千円 減額0千円 会費収入 240万円

会費 @4千円 減額2千円 会費収入 160万円

会費 @2千円 減額4千円 会費収入 80万円

会費 無料 減額 会費収入 0

ただし再開時の会員登録数は不透明であり、収入予測が非常に厳しい状況にあります。

また今後、感染者拡大等により再度長期の延期となった場合、会費収入がなくなる一方、維持費用は掛かり続けることとなり、会の存続が相当厳しいとの判断もあり、苦渋の決断ではございましたが、通常とおり年会費6千円とする決定をいたしました。

また会の経済的困窮の原因としては、年々会員数が減少している中で、リーグ戦・トーナメント等の賞金額や景品バッジ等がこれまでとおりで計画されており、経費削減案が未調整な点が挙げられます。

誠に申し訳ございません。

今後、運営の改善、経費削減に関しては早々に着手する必要があります。運営の見通しがついた際には、評議会に対して「個人会費の減額対応」の議題をTDO会長として立案させていただきたいと存じます。会員の皆さまには何卒、ご理解ご協力いただきたく、よろしくお願ひ申し上げます。

以上